



RITSUMEIKAN

## 初等・中等教育における グローバル教育の到達点 と高大連携への期待

立命館小学校 校長  
立命館大学国際教育推進機構 教授  
堀江 未来

2022年3月17日  
大学の国際化推進フォーラム

**Beyond Borders**

## Raising children to be globally-minded

学んだ子どもたちが、  
世界をかえていく。

手を取り合い  
認め合う

立命館小学校で、子どもたちは  
自分とは異なる人に出会います。  
得意な目や考え方も、入られて、  
お互いを知ることが開く喜びの第一歩です。  
日々進む教育の中で、異学年との交流の中で、  
時にはお互いふつたりながらも  
子どもたちは自分自身で考える、  
認め合い、支え合う大切さを学んでいます。



Ritsumeikan  
Primary School



立命館小学校

立命館小学校 〒603-8141 京都府京都市北区小倉西上船町22番地 TEL: 075-496-7777 FAX: 075-496-7770 URL: <http://www.ritsumeikan.ac.jp/primary>



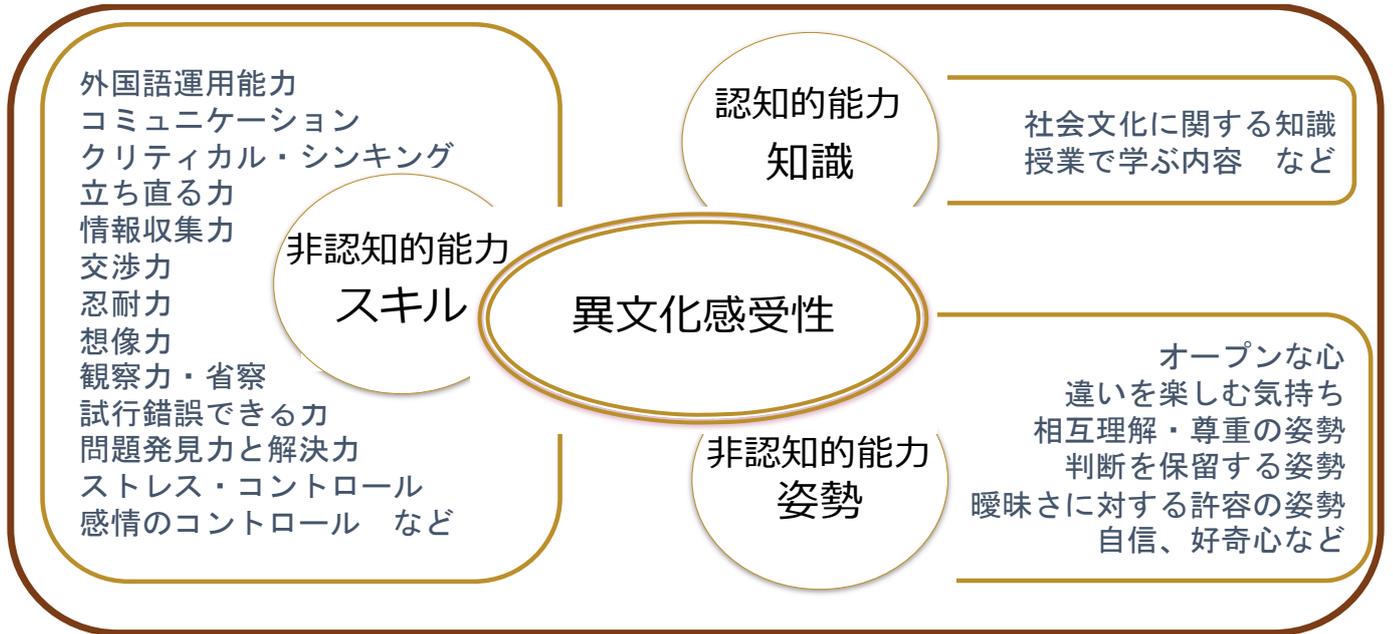
## 今日の内容

- 「グローバルな学び」とは？
  - 目的と方法論
- 立命館小学校・中学校・高等学校の事例
  - 「新たな価値を創造し、社会に貢献できるグローバルリーダーの育成」
  - SSHとSGH
- グローバル教育の高大連携に向けて
  - 学習者を中心とした個別のアプローチへ

**Beyond Borders**



# 「グローバルな学び」の目的：方法論は多様



BRIDGE Institute (2020)

## Beyond Borders



# 立命館小学校・中学校・高等学校のミッション

## 「新たな価値を創造し、社会に貢献できるグローバルリーダーの育成」

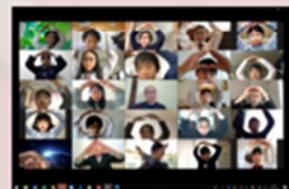
「社会の一員として（社会の急激な）変化を少しでも良い方向に導くため、これまでの価値観や常識にとらわれることなく、一人一人が個としての軸をもつとともに、それぞれの高度な専門性に基づく使命感を持ちながら、文化や言語の違いを乗り越え、多様な人々との温かな協力関係の中で歩みを進める姿勢がもとめられます」





学んだ子どもたちが、世界を変えていく。

Raising children to be globally-minded



【特集】本校のオンライン学習について



## 小学生にとっての「世界を変える」とは？

すぐ隣にいるお友達  
から世界が始まるよ

誰もが安心して過ご  
せる学校にしよう

社会と私は  
どうつながるのかな

**Beyond Borders**

# World Week

APUの国際学生が全てのクラスに入って過ごす一週間



## SSHとSGH (WWL) : 高校のグローバル教育を牽引

### SSH: Super Science High School

#### スーパーサイエンスハイスクール事業 (2002~)

- 「高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。」
- 全国218校 (2021年度)

### SGH: Super Global High School

#### スーパーグローバルハイスクール事業 (2014~2018)

(2019年度からWWL: World-Wide Learning へ)

- 「高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としています。」
- 全国約50校 (+アソシエイト校)

**Beyond Borders**



## ■国際理系人材の育成

■理系知識・技術

■英語

■多文化協働力

■国際共同課題研究

■Japan Super Science  
Fair

**Beyond Borders**



## 国際共同課題研究

- 高校2年・3年「課題研究」→希望者のみ「国際共同課題研究」に
- シンガポール、韓国、台湾、タイ、カナダの協定校の生徒と数名でのチームを組み、研究テーマの設定、研究の計画、データ収集、分析、発表までを、1年間かけて行う。
- オンラインでのやりとりが中心（+相互訪問）
- Japan Super Science Fairやその他国際科学フェアにおいて共同発表を行い、フィードバックを得て、さらに改善を重ねる。
- 異文化間コミュニケーションや異文化感受性に関する事前学習を行い、プロセスからの学びも意識させる。

**Beyond Borders**



Mdsdq#Vxshu#VfIhqfh#Ed lu



## Japan Super Science Fair



- 海外生徒を招聘、一週間に渡って科学研究に関する発表・議論・交流をおこなう
- 生徒の実行委員会による企画・運営

Day 2



### Make our Mark in the World of Science

Japan Super Science Fair 2017 Ritsumeikan High School

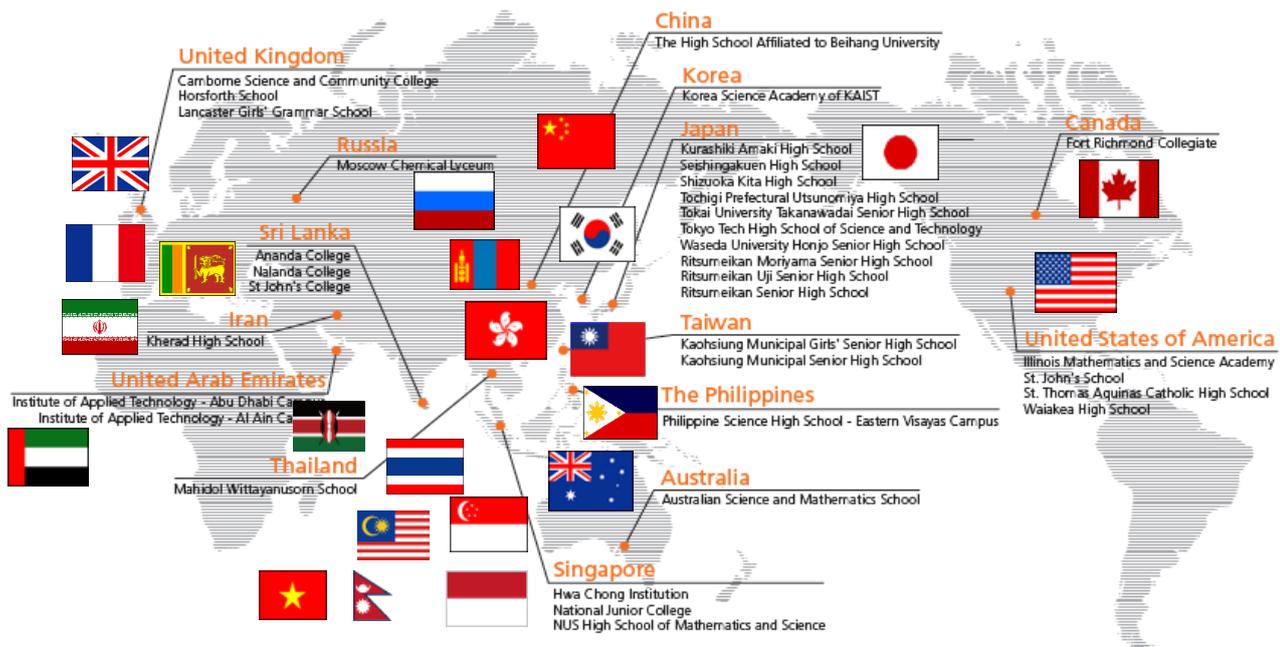
November 4, 2017 Day 2 Issue 2

3, 2, 1, and We're Off! JSSF2017 is Officially Under Way!



Dr. Shirakawa gave an inspirational lecture Friday morning about the importance of learning by mentioning three points to enrich our minds. First, learn as many subjects as you can. Second, by experiencing many things, you will learn more. Finally, find something that interests you, and learn as much as you can about it. By doing so, you may experience serendipity.





JSSF参加校  
2017年度：24カ国・地域



## R 立命館高等学校：SGH (2014-2018)

- 「貧困」「災害」「SDGs」
- 国内外における多彩な研修
- 模擬国連
- Rits Super Global Forum
- 道具としての英語力・多文化協働力





# 立命館高等学校：キャンパスSDGs

「正しさ」の数は1736通り（立命館中高の生徒総数）  
**自分の「正しさ」だけを信じないで！**

**#16 平和と公正をすべての人に**  
 紛争や汚職などで政治が機能していない国・地域では、暴力や犯罪が多発します。安心した生活を求め、母国を離れた難民は2000万人を超えています。日本では司法制度がありますが、生活保護や難民申請など十分に活用されていません。

## Beyond Borders

立命館高等学校 キャンパスSDGs 世界を変えるためにできること

<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>募金箱に入れてみよう</b></p> <p>01 貧乏をなくそう  <small>貧乏をなくすには、貧乏の原因を突き止めることが必要です。貧乏の原因は、病気、災害、戦争、経済危機などさまざまです。募金箱に入れて、必要な支援を届けよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>ごはんは腹八分目まで！</b></p> <p>02 飢餓をゼロに  <small>世界の向こう側の国々では、食糧不足や栄養不足の問題が深刻です。食糧を無駄にせず、腹八分目まで食べて、食糧の大切さを伝えよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>いつか世界の平和になるまで  <b>手洗い・うがいをしよう</b></p> <p>03 すべての人に健康と福祉を  <small>手洗いやうがいは、感染症の予防に効果的です。毎日手洗いやうがいをし、健康な生活を送りましょう。</small></p>
<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>学べるありがたさを忘れずに</b></p> <p>04 質の高い教育をみんなに  <small>教育は、人々の未来を切り拓く鍵です。学べるありがたさを忘れず、知識とスキルを身につけよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>着たいものを、着よう。</b></p> <p>05 ジェンダー平等を実現しよう  <small>ジェンダー平等は、社会の発展の鍵です。性別に関わらず、着たいものを着よう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>音消しは水ではなく音姫を</b></p> <p>07 安全な水とトイレを世界中に  <small>安全な水とトイレは、人々の健康と生活の基盤です。音消しは水ではなく音姫を使い、環境に優しく生活しよう。</small></p>
<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>ストップ！電気のつけっぱなし！</b></p> <p>07 再生可能エネルギーを拡大しよう  <small>再生可能エネルギーは、環境に優しいエネルギーです。電気のつけっぱなしをストップし、省エネを心がけよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>肩書き券プレゼント</b></p> <p>08 働きがい、経済成長、雇用を創出しよう  <small>働きがい、経済成長、雇用を創出しよう。肩書き券をプレゼントし、夢を応援しよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>画面の向こう側の相手を笑顔に</b></p> <p>09 産業と技術革新の基盤をつくろう  <small>産業と技術革新の基盤をつくろう。画面の向こう側の相手を笑顔にし、絆を深めよう。</small></p>
<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>みんな同じ地球人。</b></p> <p>10 人や国・地域間の格差をなくそう  <small>人や国・地域間の格差をなくそう。みんな同じ地球人として、互いを尊重しよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>みんなの学校を大切に</b></p> <p>11 持続可能な都市とコミュニティを創出しよう  <small>持続可能な都市とコミュニティを創出しよう。みんなの学校を大切に、学びの場を大切にしよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>落としもの注意！</b></p> <p>12 つぶやき、消費を減らそう  <small>つぶやき、消費を減らそう。落としもの注意！環境に優しく生活しよう。</small></p>
<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>お金も気温も上がり放題。</b></p> <p>13 気候変動に具体的な対策を  <small>気候変動に具体的な対策を。お金も気温も上がり放題。環境に優しく生活しよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>財布携帯マイバッグ</b></p> <p>14 海の豊かさを守ろう  <small>海の豊かさを守ろう。財布携帯マイバッグ。環境に優しく生活しよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>コピーは最低限の枚数で</b></p> <p>15 陸の豊かさを守ろう  <small>陸の豊かさを守ろう。コピーは最低限の枚数で。環境に優しく生活しよう。</small></p>
<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>親孝行ははじめました</b></p> <p>16 平和と公正をすべての人に  <small>平和と公正をすべての人に。親孝行ははじめました。環境に優しく生活しよう。</small></p>	<p><b>SDGs GOALS</b></p> <p>世界の向こう側の国々を豊かに、暮らしの質を向上させよう  <b>やってみようボランティア</b></p> <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう  <small>パートナーシップで目標を達成しよう。やってみようボランティア。環境に優しく生活しよう。</small></p>	

## SDGs 海外視点で考える



「ごみ集積所近くのコミュニティを訪問する立命館高校の生徒ら」  
 立命館高校の生徒らに話をするメラティ・ワイゼンさん  
 立命館高校提供

「いすれもインドネシアのバリ島」  
 (小松正典)

### プラごみ ワイゼンさんと議論も

観光地として知られるバリ島は、課題の解決に取り組む社会起業家も活発に活動していることから、同校は研修先として選んだ。

訪れたのは、同校グローバルラーニング(GL)コースの2年生(当時)、37人。同

### 立命館高生、バリ島で研修

市は生徒が3月、研修先としてインドネシアのバリ島を訪れた。バリ島ではプラスチックごみによる海洋汚染が問題になっており、現地で課題に取り組む同年代のメラティ・ワイゼンさんも意見交換。これからは国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けた活動を続けることにしている。

この場で生徒らはワイゼンさんから、熱い思いで物事を進めることの大切さを教えられるという。生徒らも、ホ

「問題の解決策を話し合ったことはこれまでにもあったが、なかなか行動には移せなかった。ワイゼンさんの話を聞き、若者にもできないことはないと思った」。児玉郁美さん(17)は「帰国後、レジ袋を見る目が変わった。プラスチックごみの問題が日本でも話されるG20(主要20カ国・地域)の会議にも関心を持つようになった」と話す。

ごみ集積所を見た舞盛元さん(17)は「バリ島に行くまでは、ごみの山はなくすべきたと思っていたが、ごみを集めて生活している人にもいると知った。現地の人たちに寄り添って考えられるようになった」と感想を述べた。

1ムルームや英語の時間に準備した内容を報告。校内でのごみの分別の状況や、なるべくプラスチックを使わない製品を作る企業の取り組みなどを紹介した。レジ袋の代わりに風呂敷をエコバッグとして使う方法を演習すると、ワイゼンさんは興味深そうに見入っていたという。研修ではほかにも、ごみ集積所近くのコミュニティや孤児院をグループに分かれて訪問した。

こうした経験をふまえ、今秋の国際フォーラムでは議論するテーマを「ごみ問題」に設定。今後、レジ袋廃止に向けた取り組みを展開したり、BBPの京都支部として活動したりすることも検討しているという。



# Global Citizen

VOL.  
01

Welcome to RSGF 2017 !!!

2017/11/10  
【Day 0】



Participating Schools

## Objectives

- ① To expose student-participants to world issues, focused on the theme (Education for Children ~What education is needed for vulnerable children in the world~) through research, field trips, and discussions, where they share ideas and opinions about them, collaboratively.
- ② To widen the perspectives of the student-participants, where they can integrate with students from different settings who are about the same age.
- ③ To help student-participants establish partnerships, friendships, and, above all, "leadership" along with "followership".



## グローバル教育の高大連携に向けて

現状として・・・

- 高校も、大学も、急激な変化の中に
  - 情報のアップデートが間に合っていない（個人的な経験に引っ張られる）
  - 学校間での機会・リソースの差が激しい
- 接点としての「入試」が相互理解の障壁に
  - 内部推薦であっても、外部受験であっても、入学選抜で問われる評価のあり方が影響力をもつ
- 生徒はさらなる高みを目指したい
  - 主体的な学習者として。好奇心に導かれる学び。
  - コンフォートゾーンから飛び出したい（高大連携のジレンマ）

**Beyond Borders**



# グローバル教育の高大連携に向けて

小中高大相互理解のために

- **大学側への提案：学習者としての資質・スキルの変化に注目**
  - 主体性・正解のない問いに向かう姿勢・社会貢献意識
  - 英語力・多文化協働力・ICTスキル
  
- **小中高側への提案：大学リソースの活用**
  - 研究者としての大学教員との連携を
  - 大学の留学生や海外交流先など

高大連携の取り組みをするならば

- **特定分野・特定の学校間に絞った特色あるものを**
  - 生徒の極めて個人的な興味関心に寄り添う取り組みを

**Beyond Borders**